



ふるさと発見

今年で3回目となる「ふるさと発見大交流会」がアピオで開催され、当社も出展させていただきました。

今年は当社の砕石、砕砂がコンクリートにどのように入れられているか、実際にコンクリートを練る実演を通じて、「石」の存在を若者に理解してもらおう企画としました。みんな「へーそうなんだ」という顔をしながらも石の存在を理解してくれたようでした。実演に立ち寄ってくれた人には、自分でコンクリートが作れる「コンクリート練り混ぜキット」と「レシピ」を記念品としてプレゼントしました。自分でやってみて、さらに興味を持ってもらえればと思います。



当社の展示ブース



女子学生も来てくれました(^^)!



コンクリート練り混ぜキット
所定量を計量してあるので水を加えて混ぜるだけ



実演にあたり、盛岡カイハツ生コン二戸工場様より練り混ぜるコツを指導していただきました



我社の若手
実は二人ともコンクリートを練るのは初めてでした



～人材育成～

富士山麓の朝霧高原に全国建設産業教育訓練協会が設置した「富士教育訓練センター」がある。ここで骨材資源工学会が企画した採石業のための研修会が開催された。全国から10名ほどの受講生が集まり、安全、採掘計画、採掘技術、破碎選別、品質管理、環境対策、関係法令等、経営以外の技術、知識を2週間で学ぶ合宿研修である。この研修に当社から工藤君が参加した。

業務においていかに正しい判断ができるかは、技術、知識、経験が基礎になる。その判断を実行するには、意見や利害の調整も必要であろう。2週間の共同生活で現場におけるマネジメント能力に寄与する部分も大きかったと思う。基礎がしっかりした建物は、多少の風雨には動じないように裏付けがあり、信念を持った人材を育成することは、企業の存亡にかかわる重要なことである。



周囲は何もない絶好?の環境



全体朝礼風景
他コースはほとんどが外国人労働者



～介護業界の話～

フクタはグループ会社として老人ホームも経営している。「団塊の世代」といわれる年齢の層が後期高齢者の75歳に到達するのが2025年、これがいわゆる「2025年問題」だ。人は、75歳を過ぎると病気や不摂生な生活などにより様々な障害が発生し、介護の手が必要になってくる。

家族で支えてきた介護を社会全体で支える必要から、2000年に介護保険ができた。2018年には介護にかかる費用は10兆円を超えたそうだ。介護業界はその社会のニーズに合わせて拡大してきたが果たしてこの先はどうなるのか。私の見立てではもう既にそのピークは来ており、これから一気に下降線に入ってくると思っている。ピークは2025年であるが地方は人口減によりそのピークは既に来ているとみてよい。都内でも施設の身売りや廃業が出てきていると聞く。

M&Aにより買い手がつけばいいが、人手の確保や経営にあっては課題も多い。今後人口減により介護施設が淘汰される時代になるだろう。

砕石業界はこのピークが今から20～25年程前だったのではないだろうか。しかし今も細々であるが何とか経営はできている。介護業界も今後10～20年で施設は3割は減っていくだろう。その時残れるかどうかは、人材とサービスの質の確保が出来るか否かにかかっている。今こそ経営力が試される時であり、しっかりと見極めながら対策をとっていくしかない。カーリングばかりやってもいられないなあ～と思う今日この頃 (-_-)

福島 of 憂鬱

福島の震災被災地を視察する機会があった。直接的な震災被害の他に原発事故が重なり、8年たった今も関係者以外に人の気配がない。役場、学校、住宅、港、加工施設等、外見はよく整備された街の姿があるのだが、不気味なほど人がいない。

2018年4月に開校した「なみえ創成小中学校」は、全校生徒14人とのこと。新築校舎の威容が物悲しく感ずる。「どうしたらいいのだろう」と途方に暮れてしまった。



2km程先に福島第一原発



道路脇には線量計が設置



なみえ創成小学校

編集後記

あつという間の一年でしたね！残り忙しいひと月を乗り越え、元気にお正月を迎えましょう。

ということで、我社は12月28日(土)～令和2年1月5日(日)までお休みさせていただきます。来年もご愛顧のほどよろしく願いいたします。